

企画／「NPO環～WA」×発酵常陸

こども園で味噌作り体験

2月17日(火)、茨城キリスト教大学附属認定こども園の『せいじ園』で「森をまもる みそづくり」のイベントが行なわれました。

実施主体は、荒廃した里山（山林・農地）の再生と保全に取り組んでいる「NPO環～WA」（代表理事：大和文子）と発酵常陸です。

園児を対象にしたイベントは、まず「里山を守る大豆」の話。紙芝居とペープサートによる話だったので、園児たちはとても興味をもってくれました。紙芝居&ペープサートはアーティストのなるさん制作です。

そのあとは、その話に出てきた「大豆」を使った「味噌づくり体験」です。園児たちは小さな手で煮豆をつぶし、米糀をほぐして、じょうずに混ぜて「味噌だんご」を作りました。その味噌だんごを樽（たる）に仕込み、あとはしっかりと蓋をして完了。園児たちの初めての味噌作り体験は「どろ遊びみたいで楽しい！」と、終始笑顔があふれる時間でした。素手で大豆や糀の感触や匂いを感じる体験はとても貴重だったと園長先生からも高評価をいただきました。

今後、味噌が完成した秋ごろには、園児たちが作った味噌を実際に味わう体験につながる予定です。

今後、味噌が完成した秋ごろには、園児たちが作った味噌を実際に味わう体験につながる予定です。



紙芝居にはかわいいキャラクターができました。



写真上：米糀につぶした大豆を混ぜていく園児たち。
写真左：みんなの手で混ぜ混ぜすると楽しい。

ドラム缶風呂・板塀に改修



林間サイトの奥。ここでドラム缶風呂を楽しむことができます。

キャンプ場の林間サイト「居間森」に設置しているドラム缶風呂。2024年の春に設置して以来、多くのキャンパーに利用されてきました。

これまでは目隠しに葦簀（よしず）を使っていましたが、さすがに葦簀の劣化が早いことが悩みでした。

そこで、春の「ドラム缶風呂」シーズンに向けて「板塀」に改修しました。部分的な囲みにしているのは、自然を存分に感じながら中でドラム缶風呂を体感してほしいということです。

水を運んだり湯を沸かしたりするのはキャンパーのセルフ活動。ドラム缶風呂のすべてを楽しむ“遊び心”が大事です。

ドラム缶利用は「薪」付きで3,300円。家族や仲間うちでこんな体験ができるのですからリーズナブルです。